

アフガニスタンから平和を考える中村哲医師(その1)



精神科医 瀬戸 睿

心の悩みエトセトラ

第27話

8月25日埼玉会館で行われた中村氏の講演会に行ってきた。会場は超満員で、こんなにも日本人で中村氏に興味を持っている人がいるんだと日本人を見直した。

中村氏は、33年前にハンセン病の治療のためにアフガニスタンへ行く。しかし、この地はマラリア、結核、アメーバ赤痢、胃腸炎などの感染症で満ち溢れていて、全ての治

療が求められると1983年ペシヤワール会を設立し、診療所を作り活動を展開した。

しかし、2000年にこの地を大旱魃が襲い、アフガニスタン全体に水が無くなり、農村地帯も砂漠化していった。水が無く死亡する者が後を絶たなくなり「医療以前に水」とばかりに、枯れた井戸を深く掘り、あちこちに新たな井戸を掘り、何十万の人々に命の水を与え続けた。更にその活動は、荒れ果てた砂漠に水を与え緑地化し、小麦やトウモロコシなどが収

穫できる農地にするという大運動を展開し始めた。6000m級の山々から流れる川から荒れ果てた砂漠に水を与えるという大事業である。戦乱と大旱魃の中、ペシヤワール会に集められた日本人からのカンパを資金とし、現地の人々とこの活動に共鳴する日本人スタッフの熱意と協力で、何10kmと用水路を作り続けている。アフガニスタンに爆弾を落とし続けているアメリカもさすがにこの現場には手を出さない。その活動はイスラムの人達の尊敬を受けている。アメリカには侮蔑と不信である。

(続く)



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151